

ハヤヨミ！ 看護政策 No.367

都道府県看護協会長 様
本会職能委員 様

日本看護協会 広報部
2022年9月21日



生きるを、ともに、つくる。

公益社団法人 日本看護協会

マイナンバー制度の活用など議論 —医療部会—

公開可

◎医療関係資格におけるマイナンバー制度の活用など議論 医療部会

9月5日に社会保障審議会医療部会が開催され、①現行の感染症法等における課題と対応等②医療関係資格におけるマイナンバー制度の活用③新型コロナワクチン摂取会場への看護師の労働者派遣④「全国で医療情報を確認できる仕組みの拡大」の運用開始について議題とし議論した。①では、9月2日の新型コロナウイルス感染症対策本部決定の「新型コロナウイルス感染症に関するこれまでの取り組みを踏まえた次の感染症危機に備えるための対応の具体策」に基づき、感染症法等の改正の方向性が示された。②については、マイナンバー制度を活用した看護職の人材活用システム(案)として「看護職キャリアデータベース」案が示された。井伊副会長は、示された案の方向性で進めてほしいと述べた上で、「看護職のキャリアデータベースの情報が、看護職の資質向上支援や復職支援等にしっかり活用され、看護職自身がメリットを得られるように検討してほしい」と要望した。また、任意入力項目で示されたポートフォリオの項目の中には個人目標や将来ビジョンといった個人の内面的なことまで含まれていると指摘し、項目についてはさらに精査が必要と意見した。③については、オミクロン株対応ワクチン接種に対応するため、看護師の労働者派遣についての特例措置期間の延長が承認された。④については、2022年9月11日より医療機関・薬局で診療情報の閲覧が開始となることが報告された。(執筆：吉川常任理事)

◎感染症法の改正等を議論

医療保険部会

9月8日に社会保障審議会医療保険部会が開催され、①感染症法の改正②今後のNDBについて議題とし議論した。①については、事務局は、新型コロナウイルス感染症対策本部決定(2022年9月2日)の内容に基づき、次の感染危機への対応を視野に入れた感染症法等の改正の方向性を説明した。この方向性の中の減収保障について、減収補償の財源を保険料と公費で負担し、負担割合1対1とする案について、診療の対価とはいえない減収補償には本来公費を充てるべきとの意見を各委員が述べた。加えて「仮に緊急対応として行う場合、期間と対象医療機関を限定的にすべき」「あらかじめ限定的な期間として設定しておくべき」などの意見を複数委員が述べた。また、特別な協定の内容等が都道府県ごとにばらつかないように国がガイドライン等を作成するよう求める意見が出た。②については、「今後、医療・介護データ等解析基盤(HIC)

<お問合せ先> 日本看護協会 広報部

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-2 電話：03-5778-8547 FAX：03-5778-8478

Eメール koho@nurse.or.jp ホームページ <https://www.nurse.or.jp/>

をクラウド上に構築すること」や「NDB と他の公的データベース等との連結を進めること」「死亡情報とも連結すること」について現在の検討状況等が報告された。委員からは異論・反論等はなく、さらなるセキュリティ対策の強化や、健康格差の観点から教育水準等の社会的情報との連携を求める意見があった。(執筆：吉川常任理事)

◎かかりつけ医機能について議論

第 8 次医療計画等に関する検討委員会

9月9日に第8次医療計画等に関する検討会が開催され、「かかりつけ医機能」について議論した。検討開始時、事務局から「かかりつけ医機能」については医療計画にかかわらず幅広く議論してほしいとの指示があった。吉川常任理事は、「かかりつけ医機能」の機能は、「医療機関の機能」であると考え、そのため、省令および告示で「かかりつけ医機能」としている名称を「かかりつけ機能」としたほうが良いと意見を述べた。また、「予防」に関するかかりつけ医機能を検討する場合は、健診制度との関係を整理して考える必要があること、「高齢者医療」について、急変時の対応や看取りについてかかりつけ医機能を整理する場合は、訪問看護ステーションが果たしている役割が大きいため、訪問看護ステーションとの連携も含めて検討することを要望した。また、かかりつけ医機能を有効に発揮させるための具体的な仕組みとして、地域における連携体制の構築が重要になるため、地域医療構想や外来医療機能の検討などを行う協議の場に、看護職や医療関係職種が参加し、各専門職の役割や機能を含め検討する体制整備が必要と意見した。(執筆：吉川常任理事)

「ハヤヨミ！ 看護政策」は、看護政策関連の情報や本会の動きを、都道府県看護協会の皆さまと本会職能委員の皆さまにお伝えするものです。内部活用を基本としていますが、中見出しに記載している「◎」は公開可能な内容、「■」は公開をお控えいただきたい内容です。情報の取り扱いには、ご留意いただくようお願い申し上げます。